

## マスコミでみるURCの今 - 最近1ヶ月の情報を中心に -

### 新聞

- 2013.5.9 **中部経済新聞** 12p  
自転車押し歩き苦戦/福岡市/区間指定1ヵ月余高まる専用道整備  
福岡市の「押し歩き推進区間」指定に関し、谷口博文主幹研究員がコメント 印以下同じ
- 2013.5.7 **熊本日日新聞 夕刊** 2p  
特報 = 自転車押し歩き、守られず 福岡・天神の区間指定1ヵ月 指導員の声掛け頼み 専用道整備求める声も ズーム
- 2013.5.2 **秋田魁新報 朝刊** 17p  
自転車押し歩き、指定の効果薄く 福岡市天神地区の「推進区間」1ヵ月 専用道整備求める声も
- 2013.5.2 **信濃毎日新聞 夕刊** 2p  
歩道の自転車押し歩き、苦戦 福岡・天神、推進区間指定から1ヵ月 専用道整備求める意見も
- 2013.5.1 **日本経済新聞 夕刊** 16p  
アート町に咲く 十和田市現代美術館「まちなか会場」美術家が隠れた魅力発見  
市民研究員OB藤浩志さんが副館長を務める美術館の活動が紹介される。
- 2013.4.28 **朝日新聞 朝刊** 23p  
姪浜のよさ 歩き探る まちづくり協、提案続々  
URC OB大塚政徳さんが事務局を務める協議会の活動が紹介される。
- 2013.4.28 **熊本日日新聞 朝刊** 4p  
くまにち論壇 = 再生可能な地域力を(小川全夫、熊本学園大社会福祉学部教授)  
小川全夫副主幹研究員が執筆
- 2013.4.17 **日刊工業新聞** 3p  
日本産業投資技術促進、26日にASEAN関連セミナー  
唐寅主任研究員が雲南省とASEAN諸国との経済活動を解説するセミナーの開催予告
- 2013.4.15 **東奥日報 朝刊** 6p  
十和田/地域への感謝花に込め 南小児童 美術家と交流、制作  
市民研究員OB藤浩志さんが副館長を務める十和田市現代美術館と連携したプロジェクトの開催報告
- 2013.4.10 **熊本日日新聞 朝刊** 11p  
世情の風・少子高齢社会を歩く(1) = 1円パチンコ 愛好者・みんな顔なじみ/命がけでやる/安くヒマつぶし 店側・中古代を再利用/生き残り競争/大衆娯楽の場に(連載)  
小川全夫副主幹研究員がインタビューを受ける。

### 雑誌

- 2013.5.1 **ふくおか経済 5月号** 72~79p  
特集 成長のキーワードは「MICE」東アジアのビジネスハブ・福岡へ - FDC産学官民連携の「成長戦略」  
今年度から当研究所に事務局を移した福岡地域戦略推進協議会(FDC)の総会開催を機に、同協議会の戦略と今後の方向性が紹介される。
- 2013.5.1 **ふくおか経済 5月号** 73p  
域内総生産 20年までに2兆8000億円増 雇用人口6万人増 都市圏人口7万人増へ  
後藤太一情報戦略室長がFDC事務局長として意気込みを語る。
- 2013.4.25 **道守通信 vol.25 春号** 1p  
巻頭随想 樗木武「五足のスニーカー」で歩く道 樗木武前顧問が随想を執筆
- 2013.4.22 **日経ホームビルダー** 57~63p  
めざせ満室!リノベ×賃貸 - 新連載 第1回 - 築40年でも 仲介の苦労知らず  
市民研究員OB吉原勝己さんが代表取締役を務める吉原住宅/スペースRデザインのノウハウが紹介される
- 2013.4.15 **九州経済調査月報** 2013.5 1p  
NET WORK「九州の成長戦略」を谷口博文主幹研究員が執筆
- 2013.4 **URまち・ルネッサンス Vol.10 NO.106** 28p  
EYE from OPINION 「人口減少下における都市の再整備とURへの期待」を松本法雄前副理事長が執筆
- 2013.4.1 **九州マーケティング・アイズ** 2013 春 April Vol.65 18~20p  
アジアと九州の今「映像の街福岡!？」をURC OB山本公平さんが執筆
- 2013.3.15 **都市とガバナンス Vol.19** 69~71p  
第3回都市調査研究グランプリ(CR-1グランプリ)  
平成23年度短期研究員青山航氏がグランプリを受賞した賞の概要と選考委員の講評が紹介される。

### 所員雑感「~URC勤続25周年を迎えて~韓国・釜山の旅」2 釜山到着 山崎三枝

福岡空港で出国手続きを終えると、早速一番手ごろな旅行保険に入りました。機内は快適!20年前「釜山へ行くなら釜山港から!」という友人の強いこだわりにつき合っ、3月の荒れ狂う玄界灘をビートルで渡って以来の釜山です。そのときの3時間の長かったこと!今度はあっという間に金海空港。機内食も出て、ますます飛行機が好きになりました。到着後入国手続きを終えると、出口に釜山国際交流財団のソンさんが待っていてくれ、車でホームステイ先の方が待つところまで送ってくれました。「ホームステイのお宅までかな?」と思っていたら、降ろされたのは道端。「は?」と思うや、感じのいい女性がニコニコと迎えてくれて、違う車へ案内してくれました。以下次号へ